

(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

2023年6月5日

札幌市長 様

提出者

住所 〒003-0028  
札幌市白石区平和通15南1-8

氏名 北ガスジープレックス株式会社  
代表取締役社長 大関 伸二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-864-6565

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北ガスジープレックス株式会社
事業場の所在地	札幌市白石区平和通15丁目南1番8号
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

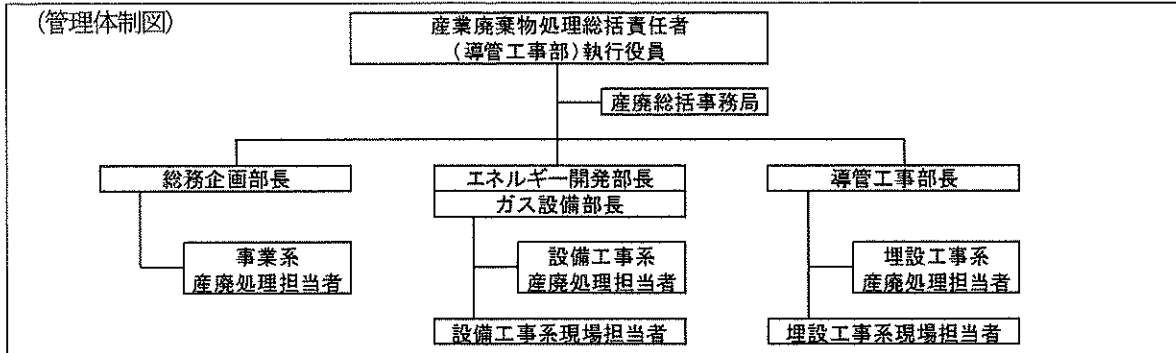
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	設備工事業 一般管工事業 [0831]
② 事業の規模	売上高 5,836百万、資本金 300百万円
③ 従業員数	160人 (2023年4月1日)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 収集運搬業者に委託 → 中間処理業者に委託し、再生砕石や再生アスファルト合材として再資源化 建設汚泥 → 収集運搬業者に委託 → 中間処理業者に委託し、建設資材として再資源 廃プラ → 収集運搬業者に委託 → 中間処理業者に委託し、再資源化 金属くず → 現場で自己で分別し、再生処理業者へ売却 → 再利用 木くず → 収集運搬業者に委託 → 中間処理業者に委託し、燃料用チップや建設資材として再資源化

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度実績】
	産業廃棄物の種類 排出量 別紙のとおり (添付資料1)
	(これまでに実施した取組) ・(がれき) 非開削工法による発生量の抑制 ・(がれき) 試掘の適正化とこれを反映した工事計画による発生量の抑制 ・(全般) 分別の徹底による中間処理施設、再資源化施設への搬入
② 計画	【目標】
	産業廃棄物の種類 排出量 別紙のとおり (添付資料1)
	(今後実施する予定の取組) 上記活動を継続するとともに下記の取り組みを実施 (強化) する

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・(がれき) ロードヒーティングや鉄筋の分別 ・(廃プラ) 廃プラからポリエチレン管の分別
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記活動を継続する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり (添付資料1)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
該当なし		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり (添付資料1)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり (添付資料1)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
該当なし		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり (添付資料1)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり (添付資料1)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
該当なし		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり (添付資料1)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり (添付資料1)
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組)		
・再生利用業者を選定して排出する		

② 計画	<b>【目標】</b>
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
	別紙のとおり（添付資料1）
	(今後実施する予定の取組) 上記活動を継続するとともに下記の取り組みを実施（強化）する ・委託する処理業者へ定期的な再生利用状況のヒアリング
※事務処理欄	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによつて減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

